

HOSPITALIZATION GUIDE

入院のご案内

入院の際は必ず本誌をご持参ください

入院予定日 月 日 曜日(手術予定日 月 日 曜日)● 入院当日は 時頃に 本館1階3番 入院受付 救急外来受付(土・日・祝) へお越しください。

原三信

医療法人 原三信病院
HARASANSHIN HOSPITAL

— 目次 —

- 1 入院の準備
入院の手続き・持ち物…………… 2
- 2 入院中の過ごし方
入院中の生活について…………… 3～4
患者さんの安全のために…………… 5～8
- 3 支援について
当院の支援体制について…………… 9
地域包括ケア病棟のご案内…………… 10
- 4 退院・入院費用について
退院が決定した患者さんへ…………… 11
入院診療費の計算方法について…………… 12
高額療養費制度…………… 13
診断書・証明書について…………… 14
- 5 相談窓口・施設案内
各種相談窓口のご案内…………… 15
本館1階フロアマップ…………… 16
病院敷地図・立面図…………… 17

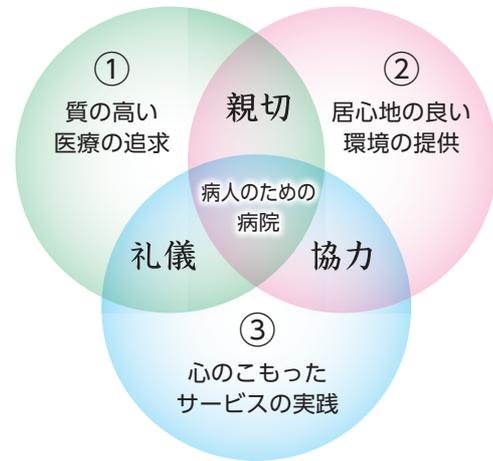
個人情報取り扱い

入院患者さんの治療を安全に行うため、患者さんの個人情報に関して、下記の通り取り扱いを行います。

- 病室前に患者さんのお名前を掲示させていただきます。
- 患者さんが使用される病室内のベッドの枕元には、お名前を記載したベッドネームを掲示します。
- 治療及び検査時に用いる点滴容器などにシールを貼り、お名前を表示します。
終了後はマジックなどでお名前が分からないように処理をして廃棄します。
- 薬袋については、お名前を表示します。廃棄時には、マジックなどでお名前が分からないようにして処理します。
- 患者さんの食事には、お名前を記載した食札をお付けします。蓄尿が必要な方の蓄尿袋には、お名前を表示します。

上記の件について、またはこれ以外の個人情報取り扱いについて、ご希望がございましたら、病院職員までお申し出ください。お申し出がない場合には、同意いただけたものとして取り扱わせていただきます。また、入院後いつでも変更、撤回などをすることができます。

原三信病院 基本理念



患者さんの権利と責務

原三信病院では患者さんの権利を尊重し、信頼される医療を行うために患者さんの権利と責務に関する宣言をここに掲げます。

1. 良質の医療を受ける権利

適切で良質な医療を平等に継続して受ける権利があります。

2. 選択の自由の権利〔セカンドオピニオン〕

病院や医師を自由に選択し、または変更する権利と他の医師の意見を求める権利があります。

3. 情報を知る権利

治療や病状について真実を知り、納得ができるまで十分な説明を受ける権利があります。

4. 自己決定の権利

十分な説明を受け、治療を受ける権利と治療を受けることを拒否する権利があります。

5. 機密保持を得る権利

治療で医師や従事者が知り得た全てのプライバシーの機密保持を得る権利があります。

6. 尊厳を得る権利

尊厳を保ち安楽に終末期を迎えるためのあらゆる可能な助力を受ける権利があります。

7. 情報を提供する責務

医師をはじめとする医療提供者に対し、自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。

8. 医療提供に支障を与えない責務

全ての患者さんが、適切な医療を受けられるようにするため、患者さんには、他の患者さんの治療や病院職員による医療提供に支障を与えないよう配慮する責務があります。暴力や暴言、ハラスメントなどの行為により、他の患者さんに迷惑がかかる場合や医療提供者の医療行為が妨げられた場合、診療を中止することがございます。

9. 医療費を適正に支払う責務

患者さんは当院が適正に算定、請求した医療費を遅滞なく支払う責務があります。

入院の手続き・持ち物

*チェック しながら確認してください。

確認させていただくもの

受付で確認

- 診察券
- 健康保険証
- 高齢受給者証
- 医療福祉費受給者証
- 限度額適用認定証**
- 介護保険証



お持ちの方

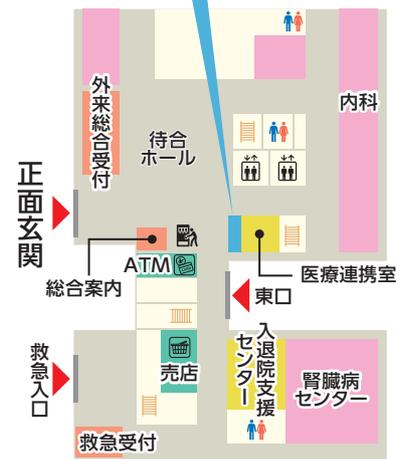
※限度額適用認定証については12ページを参照
 ※確認後ご返却いたします。
 入院中に変更が生じた場合は、
 スタッフステーションにお申し出ください。

提出させていただくもの

- 入院申込書
- 各種同意書
- 体温表



3番 入院受付



本館1階フロアマップ

*ご不明な点がございましたら ☎092-291-3434 までお問い合わせください。▶拡大図は16ページにあります

用意させていただくもの

服用中のお薬

- ・予定入院期間分に多少余裕を持った日数分のみをご持参ください。
 (日分程度)
- ・目薬、吸入薬なども忘れずにご持参ください。
- ・現在服用していないお薬(過去の飲み残し分など)は持参不要です。

お薬手帳

- ・持っていない場合は「お薬説明書」などをお持ちください。

サプリメント、健康食品等

- ・入院中に服用を希望される場合は原則として主治医の許可が必要です。事前にご相談ください。

中止の指示が出ているお薬

- ・いつから中止となるのか再度確認をお願いします。
- ・手術後に再開する場合があるので中止薬も必ずご持参ください。



他医療機関での処方・受診について

他院から処方されているお薬は当院では準備できない場合もありますので、現在服用中のお薬は全てご持参ください。また、他院へ定期通院されている方は入院前の受診をお勧めします。やむを得ず入院中に受診しなければならない方は、事前に職員にご相談ください。

下着

洗面・入浴用具

石鹸またはボディソープ、シャンプー、リンス、歯ブラシ
 電気カミソリ、プラスチックコップなど



パジャマ(寝間着)

- バスタオル
- タオル

レンタル
もござい
ます

食器用具

箸、コップ
 (割れにくいもの)
 ストローなど



マスク



室内履き

※転倒予防
 シューズなど
 (売店でも販売しています)



イヤホン

※テレビ利用時に
 必要(多床室)
 (売店、各病棟でも販売しています)



～レンタルのご案内～



入院に必要なもの
 については、入院
 セットをご用意して
 います。
 詳しくは別紙を
 ご参照ください。

ティッシュペーパー

ウェットティッシュ



入院のご案内 (この冊子)



必要時

義歯入れ、眼鏡、補聴器、
 コンタクトレンズ、ビニール袋
 洗濯用洗剤(コインランドリーを使用される方)



※私物への記名をお願いいたします。

入院の準備

入院中の過ごし方

支援について

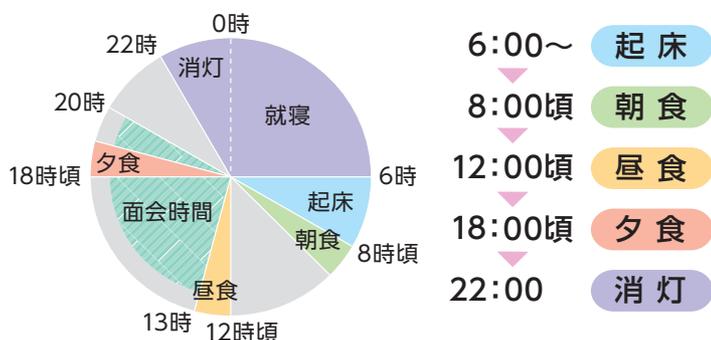
退院・入院費用について

相談窓口・施設案内

入院中の生活について

入院中の生活について

🕒 時間割



- 午前7時前の洗面所の利用はご遠慮ください。
- 消灯後は、テレビや携帯電話、照明の使用はご遠慮ください。

🍴 食事

一般食	食事内容に特別な制限のない方
治療食	糖尿病・心臓病・肝臓病・胆石・膵臓病・腎臓病・術後食など ※治療食の方は他の物を召し上がらないでください。

- 一般食の方は、朝食と夕食で「選択メニュー」をご用意しています。
※疾患の関係上、対応できない治療食があります。
- 食事は適時適温にてお持ちします。
- 食事をお持ちする時間は病棟によって多少前後する場合があります。
- お茶は各階のティーサーバーをご利用ください。



ティーサーバー利用時間	6:30~22:00
-------------	------------

🏠 病室

- 治療上の理由により病棟・病室を移っていただくことがありますのでご了承ください。
- 多床室でのベッド位置の希望(窓側など)はお受けできませんのでご了承ください。
- 個室のお申込みをいただいても都合によりご準備できない場合がございますので、ご了承ください。ご準備できない場合は、前日にご連絡いたします。
- 病室入口の氏名掲示や院外からの電話取次ぎなど個人情報に関するご希望がある方はスタッフステーションへお申し出ください。

🚿 シャワー浴

- シャワー浴は主治医の許可が必要です。
- 予約制となっておりますので、事前に看護師までお申し出ください。
- 入浴用具(シャンプー、ボディソープなど)はございませんので、予めご準備ください。



👤 面会・外出・外泊

面会時間	13:00~20:00
------	-------------

- 面会時間は治療内容や状態によってご相談に応じますので、お気軽にお申し出ください。
- 面会に来られた方々に面会証の着用をお願いしております。
- 血液内科病棟は面会制限がありますので、受付でご確認ください。
- 感染の恐れがありますので、お子様連れの面会はできるだけご遠慮ください。
- 大勢での面会をご遠慮ください。
- 病状により面会をお断りすることがあります。
- 病室内での面会の方の飲食はご遠慮願います。
- ご家族の入院中の付き添い(お泊り)は必要ありません。
- 入院中の外出・外泊は、主治医の許可が必要です。
- 外出・外泊を希望される場合は、主治医または看護師にお申し出のうえ、所定の用紙に記入していただきます。



※感染症の流行状況により面会・外出・外泊を制限する場合がございます。最新の体制につきましてはホームページをご確認ください。



▲専用QRコード

院内設備について

🧺 洗濯(コインランドリー)

設置場所	南館3階、東館各病棟(4~8階)
ご利用可能時間	8:00~20:00
洗濯機	200円/1回
乾燥機	100円/1回

※東館8階のコインランドリーは、血液内科病棟専用です。

- 洗剤はございませんので、予めご準備ください。



テレビ・冷蔵庫

カード(テレビ・冷蔵庫併用)	テレビ	冷蔵庫
1,000円	16時間45分	100円
3,000円※売店でのみ販売	50時間15分	／1日

- 床頭台に設置してある**テレビ及び冷蔵庫を利用される場合は、専用のカード(有料)が必要**です。
- カードは各病棟にある自動販売機または売店で購入できます。
- 多床室の場合、他の患者さんのご迷惑とならないよう**イヤホンを使用**してご利用ください。
※イヤホンは売店、各病棟でも販売しています。
- 消灯後(午後10時以降)のテレビのご利用は、同室患者さんの睡眠の妨げになるため、**ご遠慮**ください。
- 余ったカードは退院時に売店で精算できます。



公衆電話

 公衆電話	[本館] 1階、3階～5階
--	---------------

- テレホンカードは売店で販売しています。
- 院外からの電話のお取次ぎは午後10時までとさせていただきます。

その他ご案内

売店 ▶16ページ フロアマップを参照

場 所	本館1階	
営業時間	平 日	8:00～19:00
	土日祝	10:00～17:00 ※土日祝の13:30～14:30 は昼休みのため閉店

- ※オムツ・イヤホン・テレビカード等も販売しています。
- ※売店の営業時間は変更になる可能性があります。

ATM(西日本シティ銀行) ▶16ページ フロアマップを参照

設置場所	本館1階入院受付前	
ご利用可能時間	平 日	9:00～19:00
	土曜日	9:00～17:00
	日祝日	利用不可

- ご利用になる時間によっては手数料が発生します。
- お取り扱い内容によってはご利用可能時間が異なります。

注意事項

電子機器

使用できる時間帯 8:00～22:00

- 携帯電話は所定の場所でご使用ください。
※病室内での通話をご遠慮ください。
 - 病院内での電子機器の利用は当院規定に従い、他の患者さんのご迷惑にならないように場所とマナーを守ってご使用ください。
 - **音や光が他の方のご迷惑にならないように**、ご配慮ください。
 - **プライバシー保護のため、写真・動画撮影並びに録音については一切禁止**しています。
- ※電子機器:携帯電話、スマートフォン、タブレット、ノートパソコン、携帯ゲーム機、携帯DVDプレイヤー等



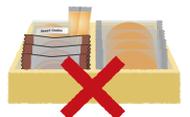
貴重品

- **盗難防止のため多額の現金や貴重品のお持ち込みはご遠慮**ください。
(貴重品はお預かりすることもできます)
- 床頭台の引き出しにセーフティボックスを設置していますので、貴重品の管理にご利用ください。
- セーフティボックスの鍵を紛失・破損した場合には鍵の代金として1,700円(税込)をいただきますので予めご了承ください。(本館病棟のみ)
- 私物(義歯・眼鏡・補聴器・時計など)の管理については自己責任でお願いいたします。私物の紛失・盗難・破損等に関しては、当院では一切その責任を負いません。



その他

- 入院期間中、**病院の備品を破損・紛失した場合は実費**をお支払いいただきます。
- 電子体温計を破損・紛失した場合は再購入代として2,145円(税込)をお支払いいただきます。
- 当院では、医師・看護師への贈答品及び謝礼はお断りしております。



患者さんの安全のために

病院内では医療安全に努めています。

入院期間を安全にお過ごしいただくために、患者さんにもご協力をお願いしております。



患者さんの確認について

リストバンド

入院中は患者さんがご本人であることを確認させていただくために、患者氏名や患者番号 (ID番号) などを表示したリストバンドの着用をお願いしております。医療のあらゆる場面でリストバンドを使用して患者さんの確認を行っています。



▲リストバンド

お名前の確認

患者さん確認の際、リストバンドの確認に加え、患者さんにフルネームで名乗っていただいております。患者間違いを防ぐために、何度もお名前をうかがう場合があります。



転落・転倒防止について

環境の変化や、病気やケガにより体力や運動機能が低下し、転倒・転落の危険が生じることがあります。以下の点にご注意ください。

履物

履物が原因で、つまずいたり、転んだりする場合があります。

- 転倒防止のため、足のサイズにあった脱げにくいもの、底が滑りにくい履物をご使用ください。
- かかとが高い靴も転びやすいため、かかとが低く、履きなれた靴タイプのものが安全です。
- 売店にて、転倒予防シューズを販売しております。購入の際はご相談ください。



▲転倒予防シューズ

ベッドの柵・高さ

- 患者さんの状況に合わせて高さを調整させていただく場合があります。
- ベッド柵は、転落防止のため必ず左右に一つずつ設置しております。
- ベッドの乗り降り時は、柵を持ち安全に移動してください。
- ベッドの上に立ち上がらないでください。

オーバーテーブル

- キャスター(車輪)が付いており、体重をかけたり、支えにしようとすると動いて危険です。立ち上がりの際やふらついた際に、支えにしないようご注意ください。



点滴を行っている場合

- 一人でトイレに行っている場合、点滴台を押して歩行する場合はゆっくり歩いてください。
- キャスターが付いており、点滴台を支えにすると動きだす際に危険ですのでご注意ください。

車いす使用について

- 当院では転倒防止のため、車いすの自走は原則禁止させていただいております。
- 車いす自走は、理学療法士からの指導が必要です。
- 車いすへの乗り降りの際は転倒の危険性がありますので、乗り降りについてご不明点やご不安な点がある場合はお尋ねください。

ナースコールについて

- いつでも手の届きやすいところに置いておきましょう。
- トイレへの移動時など、ふらつきや気分不快がある場合はナースコールでお知らせください。
- 病状により、動かれる際にナースコールでお知らせいただくよう説明があった場合は、必ずナースコールでお知らせください。
- 看護師へのご連絡や気分不快時にもナースコールでお知らせください。
- ※ ナースコールを遠慮され使用されないことで、転倒や転落などにつながる可能性があります。
「これくらいは大丈夫」と過信されずに、ナースコールをご使用ください。



外出・禁煙・禁酒について

- 安全のため、入院中の外出・外泊には主治医の許可が必要です。
- 入院中は禁煙(電子タバコを含む)・禁酒です。
- 当院は敷地内(本館5階庭園・東館4階庭園・駐車場周辺含む) 全館禁煙となっております。
- 飲酒や、大声を出したり暴れたりして他の患者さんに迷惑をかける方は退院していただくことがあります。



患者さんの安全のために



『せん妄』予防について

せん妄は、環境の変化や体調の変化、手術や検査、薬の調整などによる心身への負担が原因で、意識が混乱した状態をいいます。認知症とは異なり突然発症し、個人差はありますが一過性である場合がほとんどです。対策をとることで発症を予防できる可能性があります。

『せん妄』になりやすい人の特徴として

- 高齢の方
- 物忘れが目立ってきた方
- 脳梗塞や脳出血になったことがある方
- 以前にも入院を機にせん妄症状がみられた方
- 睡眠薬を服用されている方
- アルコールをたくさん飲む習慣がある方

『せん妄』には以下の症状があります

- 夜眠れなくなる
- 興奮する
- 会話のつじつまが合わない
- 幻覚が見える・聞こえる
- そわそわして落ち着かない
- ぼーっとする
- 記憶があいまい



『せん妄』を予防するために

〈入院前の準備〉

下記について持参していただくものをご確認ください。

- 日時を確認するためのカレンダー・時計（置き時計）
- 周囲の環境が確認しやすいように普段使用している眼鏡・補聴器など
- 使い慣れた洗面道具・タオルなど

〈入院されたら〉

- カレンダー・時計は見える位置に置き、日時の確認を行ってください。
- 昼・夜の生活リズムを整えるために、可能な限り日中は起きてお過ごしください。
- 周囲の環境を確認していただくために、眼鏡・補聴器をご使用ください。
- 痛みや便秘、不眠など不快な症状は、せん妄を発症しやすい状況になりやすいため症状を取り除くことが重要です。我慢せず、早めにご相談ください。

『せん妄』が起こった時

精神的なストレスが大きくなるだけでなく、点滴やチューブなどを自分で抜いてしまい治療の継続が困難になったり、転倒・転落に至ることもあります。

精神的・身体的苦痛を最小にとどめるよう、医療チームで薬剤の調製や治療環境を調整しせん妄の治療にあたります。

予防・治療に際しては、ご家族のサポートが重要になりますのでご協力をお願いいたします。



感染防止

病院には、病気や治療で抵抗力の弱った患者さんが多く入院されています。当院では、感染予防の基本である手指衛生をはじめとする対策に取り組んでおりますが、すべての患者さんの安全な療養生活のために、入院される患者さんならびにご家族を含む面会の方々へもご理解とご協力をお願いいたします。

入院患者さんへお願い

- 院内では **マスクの着用にご協力ください**。自室では外して構いませんが、職員や面会の方と会話される際には必ずマスクの着用をお願いします。
- 病室入口にある **手指消毒剤(成分:アルコール)で手を消毒**しましょう。
- 食事の前、トイレの後には石鹸と流水による手洗いをしましょう。
- 入院前に、ご自身が **人にうつす可能性のある感染症と診断された場合は、事前にご連絡ください**。(ご自身に症状がなくても、同居者に上記診断がある場合はご連絡ください。)
- **感染管理上必要と判断された場合は、病室の移動や行動制限、また面会制限等**をお願いすることがあります。



ご家族ならびに面会の方へお願い

- ご来院時、また院内でも **マスクの着用にご協力ください**。
- 病室へ入室する前と、退室する時には **病室入り口の手指消毒剤で手を消毒**しましょう。
- **発熱、咳などのかぜ症状がある方、その他下痢、嘔吐、全身性の発疹などの症状がある方との面会をご遠慮ください**。またご家族に感染症の診断がある場合には面会をお断りする場合がございます。
- **中学生以下の面会は可能ですが、病室への入室をご遠慮いただき、デイルームでの面会にご協力ください**。※保護者同伴をお願いします。



* **上記対応を基本としておりますが、感染症の流行状況により面会制限をする場合がございます。最新の体制につきましてはホームページをご確認いただきますようお願いいたします。**



▲専用QRコード

ご協力をお願い

診療の現場では、患者さんに使用した注射針や器材などにより職員が受傷することがあります。そのようなことがないように細心の注意を払っておりますが、万が一発生してしまった場合には受傷した職員への適切な対応が必要なため、誠に恐縮ですが患者さんの血液検査(B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、後天性免疫不全症候群HIV)をお願いする場合がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。その際の検査費用は病院が負担いたします。

ご不明な点やお気付きのことがございましたら遠慮なくお声かけください。

当院の支援体制について



退院にむけた支援

原三信病院グループでは、治療と暮らしをサポートするため、治療ステージに応じて入院・転棟・転院・退院の最適なタイミングをご案内しております。
 高度な治療が必要である急性期における手術や治療が終了し、リハビリや退院準備等の支援が必要な患者さんに対しては以下のような支援体制を整えております。
 退院までの流れや退院後の生活についてご不安な点がございましたら、各病棟の退院支援看護師までお気軽にご相談ください。

急性期病棟

急性期病棟での入院期間は、通常1～2週間程度です。

原三信病院 急性期病棟

1～2週間程度(病気の状態によります)

- 手術・処置
- 内科的処置



リハビリ・療養

患者さんの状態により、当院内の地域包括ケア病棟への転棟や、香椎原病院など地域の支援病院へ転院し、リハビリ・療養と退院へ向けた準備(介護保険の申請)などを行います。

原三信病院

地域包括ケア病棟

2～6週間程度(最大60日)

- 継続治療
- リハビリ
- 退院準備
- 介護保険申請

▶10ページを参照

香椎原病院(原三信病院から車で20分)



紹介動画



香椎原病院または地域の支援病院

回復期リハビリ病棟
 地域包括ケア病棟
 医療療養病棟
 介護医療院

長期リハビリ2～4カ月程度
 長期療養2カ月～数年程度

- 長期リハビリ
- 長期療養

退院後

服薬支援や病状観察、認知症などのご不安を支援する訪問看護や訪問リハビリ、介護サービスをご利用ください。

訪問看護ステーション 訪問看護・訪問リハビリ

退院後2週間程度(医療保険)～必要時継続(介護保険)

- 1人・老々世帯
- 在宅で継続治療・ケア
- 処置
- リハビリ
- 服薬支援
- 認知症・不安
- 痛みのコントロール



地域包括ケア病棟のご案内



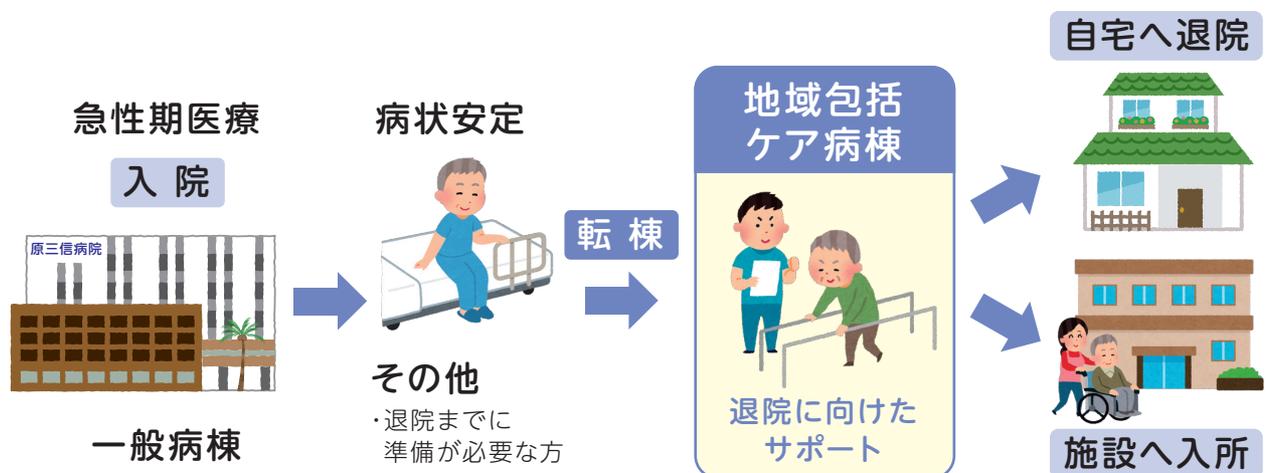
1 地域包括ケア病棟とは…

- 入院治療の過程において急性期における手術や治療が終了し、すぐに在宅や施設へ退院するには不安がある患者さんに対して、在宅復帰に向けた医療、看護、リハビリを行うことを目的とした病棟です。

また、在宅療養中に入院が必要となった時、かかりつけ医から依頼を受けて支援する病棟でもあります。

2 対象患者(どんな場合に入院・転棟になるの?)

- 急性期治療を完了し病状が安定した方で、もう少し経過観察が必要な方
- 継続的または集中的なリハビリが必要な方
- 在宅復帰に向けた療養準備が必要な方
- 介護施設等への入所待機中の方
- 主治医が当該病棟での入院が必要と判断した方



3 入院期間

- 患者さんの状態に応じて異なりますが、おおむね2週間～6週間程度です。
(ただし、当該病棟の入室後、最長60日以内での退院が原則です)

4 入院費用

- 他病棟と異なり「地域包括ケア病棟入院料2」を算定します。
- この入院料は定額で、入院基本料・投薬・注射・検査・画像診断・リハビリ等が含まれます。
(一部、手術や透析等は含まれません)

5 留意点

- 患者さんの症状の変化により主治医が集中的な急性期治療が必要と判断した場合は、一般病棟(急性期病棟)へ転棟することがあります。

入院の準備

入院中の過ごし方

支援について

退院・入院費用について

相談窓口・施設案内

退院が決定した患者さんへ



退院の流れ

退院が決定しましたら、以下の順序で退院となります。

- 1 退院前に、**退院療養計画書**及び**必要書類・内服薬等**をお渡しします。
- 2 退院当日、お帰りになるまでに**リストバンドの取り外し**、**体温計の回収**を行います。
- 3 午前9時半以降に、事務担当者が**入院診療費請求書**を持ってまいりますのでお部屋でお待ちください。(急な退院の場合は少々時間がかかる場合がございます)
- 4 入院診療費請求書を受け取られましたら、**スタッフステーションにお立ち寄り**いただいたあと、**入院診療費をお支払いいただき、退院**となります。
▶会計場所については下記参照

お忘れ物について

- **お忘れ物が無いよう退院前に再度お荷物の確認をお願いいたします。**
- お忘れ物がありましたら、**病棟で1カ月お預かりしますが、それ以降は処分**させていただきますのでご了承ください。
- 冷蔵庫内のお忘れ物は、**処分させていただきます**ので併せてご了承ください。



お支払い

入院診療費のお支払いについて

- 1 会計 入院診療費の会計場所 ▶16ページ(本館1階フロアマップ)を参照

会計時間	会計方法	窓 口	自動精算機
平日9:00~17:00		会計窓口(本館1階)	本館1階/東館1階
上記以外		救急外来受付(別館1階)	本館1階

- ※ 入院診療費請求書をお渡しできない場合、郵送させていただきます。
- ※ カードでのお支払いも受け付けておりますので、ご相談ください。

2 計算方法

- 当院は、厚生労働大臣が指定する「**DPC(包括支払い方式)対象病院**」です。健康保険証は通常通り使用できます。また、一部負担金の割合も変わりません。
- **限度額適用認定証や限度額適用・標準負担額減額認定証、高額療養費制度などの各種保険制度は、通常通りご利用いただけます。**
- 入院診療費の概算をご希望の方は早めに各病棟スタッフへお申し出ください。
「DPC」についての詳しいご説明 ▶次ページを参照

3 入院診療費の請求

- 入院診療費の定期請求は、**毎月1回(1日~月末締め)**で、**翌月12日頃に、請求書**を各病室にお届けいたします。
- **入院診療費は、自動精算機でお支払い**をお願いいたします。(会計窓口でもお支払いできます。)
- **食事負担金、室料差額や診断書等の自費料金につきましては、別途ご請求**させていただきます。室料差額は、入退院の時間に関係なく、入院日・退院日をそれぞれ1日分として計算しています。

入院診療費の計算方法について

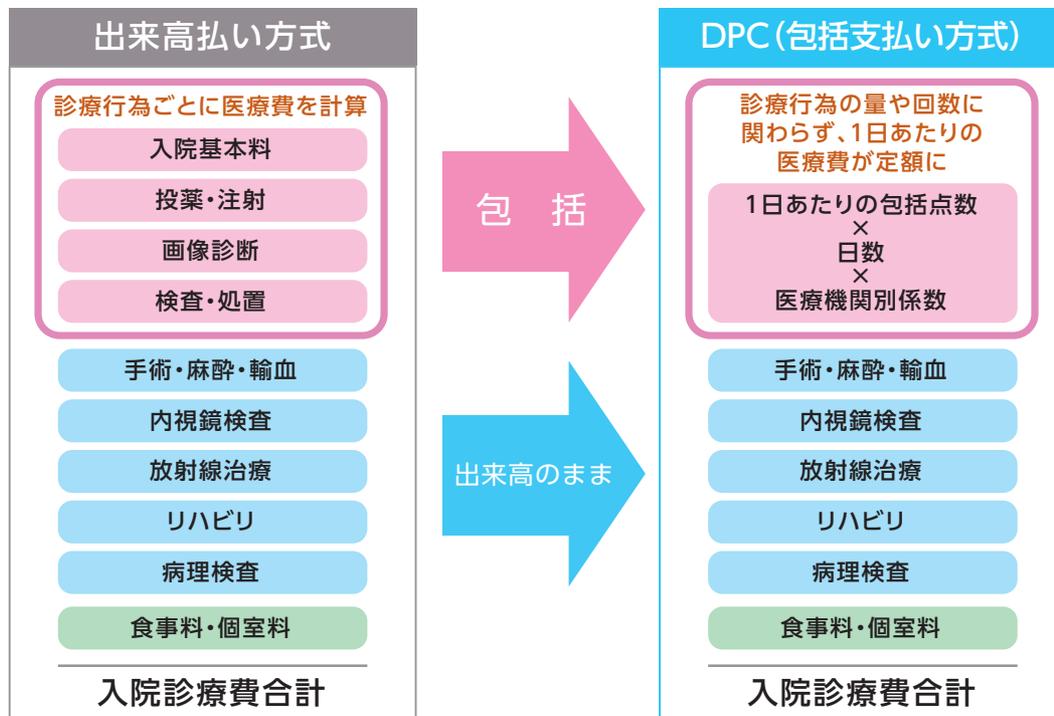
当院はDPC対象病院です

DPC(包括支払い方式)とは?

DPCとは病名や治療内容に応じて定められた1日あたりの定額費用を基本とし、入院医療費を計算する方法です。診療行為ごとに医療費を計算する出来高払い方式とは違い、診療内容に関わらず1日あたりの医療費が定額になります。*手術や一部の処置・検査等については包括項目に含まれないため、出来高払い方式で計算されます。

$$\text{入院診療費} = \text{1日あたりの包括点数} \times \text{入院日数} \times \text{医療機関別係数}^{*1} + \text{出来高点数}$$

*1「医療機関別係数」: 病院の機能に応じて病院ごとに定められている一定の係数。これにより同じ病名・治療でも病院によって医療費の総額が異なります。



DPC入院診療費Q&A

Q. 全ての入院患者がこの制度の対象となるのですか?

- A. 基本的に一般病棟に入院される全ての患者さんがDPCの対象となりますが、次の場合を除きます。
- 病気、病状や処置等の内容によっては、DPCでの計算方法が適用されず、出来高算定方法となる方
 - 治験、労災、交通事故等の自由診療で入院される方
 - 地域包括ケア病棟(本館4階)へ入院される方

Q. 長期間入院しても1日当たりの入院診療費は同じですか?

- A. 1日あたりの点数は、患者さんの病名や治療内容に応じて決まる区分(診断群分類)ごとに3段階に区分されており、入院が長くなるほど1日当たりの点数は低くなります。また、入院が長期にわたり診断群分類ごとに定められた入院日数を越えてしまうと越えた日以降は出来高計算になります。

Q. 同じ病気で同じ入院日数なら支払額は同じですか?

- A. 病気が同じでも、出来高部分の治療によって診療費に違いが出ます。特に手術、リハビリ、胃カメラなどを行う場合は出来高部分に個人差があります。

Q. 医療費の支払い方法はどう変わりますか?

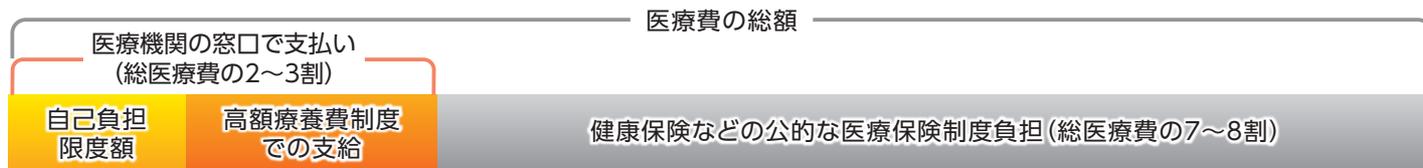
- A. 医療費の一部負担金の支払い方法は、従来の方法と変わりありません。但し、入院後の病状の経過や、治療内容の変化等によって診断群分類が変更された場合は、入院初日に遡って医療費の計算をやり直すため、請求額が一部変更となります。退院時等に前日までの支払額との差額調整を行うことがありますので、予めご了承ください。

*ご不明な点がございましたら、事務職員までお問い合わせください。

高額療養費制度

高額療養費制度とは

1カ月(1日から月末まで)に医療機関の窓口でのお支払いが一定の金額(自己負担限度額)を超えた場合、超えた額が申請により支給される制度です。※食事代や差額ベッド代、保険外負担分は自己負担限度額に含まれません。
 また、事前に「**限度額適用認定証**」等の交付手続きを行い、**医療機関の窓口**に提示することで、**窓口での支払い額が自己負担限度額までとなる制度もあります**ので、入院前の手続きをお勧めします。(入院された後に手続きを行う場合は、必ず入院された同月中にお願いいたします。)



限度額適用認定証をご利用ください

限度額適用認定証等を提示すると、医療機関の窓口での支払い額が自己負担限度額までになりますので、高額療養費制度での支給手続きは必要ありません。申請については右記へご相談ください。

協会けんぽ	全国健康保険協会 都道府県支部
国民健康保険	市役所・町村役場
共済・組合健保	各健康保険組合か 職場の担当部署

自己負担限度額と食事療養費

70歳未満の方

保険証と限度額適用認定証(所得区分がオの方は限度額適用・標準負担額減額認定証)を提示することで、窓口での支払い額が自己負担限度額までになります。

所得区分	自己負担限度額	自己負担限度額 (多数該当※1)	食事負担 (1食につき)
ア(標準報酬月額83万以上)	252,600円 + (総医療費 - 842,000円) × 1%	140,100円	460円
イ(標準報酬月額53万~79万)	167,400円 + (総医療費 - 558,000円) × 1%	93,000円	460円
ウ(標準報酬月額28万~50万)	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%	44,400円	460円
エ(標準報酬月額26万以下)	57,600円	44,400円	460円
オ(低所得者) (被保険者が市区町村民税の非課税者等)	35,400円	24,600円	210円 (入院90日超は160円)

70歳以上の方・後期高齢者医療制度に加入の方

保険証と高齢受給者証(後期高齢者医療制度に加入の方は後期高齢者医療被保険者証)を提示することで、窓口での支払い額が自己負担限度額までになります。所得区分が**現役並みI・II**の方は限度額適用認定証、**低所得I・II**の方は限度額適用・標準負担額適用認定証の交付手続きも必要になります。

所得区分	自己負担限度額(世帯ごと)	自己負担限度額 (多数該当※1)	食事負担 (1食につき)
現役並みⅢ (標準報酬月額83万以上・高齢受給者証の負担割合3割)	252,600円 + (総医療費 - 842,000円) × 1%	140,100円	460円
現役並みⅡ (標準報酬月額53万~79万・高齢受給者証の負担割合3割)	167,400円 + (総医療費 - 558,000円) × 1%	93,000円	460円
現役並みⅠ (標準報酬月額28万~50万・高齢受給者証の負担割合3割)	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%	44,400円	460円
一般 (現役並み・低所得以外の方)	57,600円	44,400円	460円
低所得Ⅱ (被保険者が市区町村住民税の非課税者等)	24,600円	/	210円 (入院90日超は160円)
低所得Ⅰ (被保険者が市区町村住民税の非課税者等)	15,500円		100円

※1 多数該当 直近12カ月で3回以上高額療養費の支給を受けた場合は多数該当となります。(限度額適用認定証を使用し、自己負担限度額を負担した場合も含まれます。)

診断書・証明書について

お申込み・受け取り窓口

- 診断書や証明書の交付を希望される方は、本館1階外来総合受付でお申し込みください。
▶16ページ(本館1階フロアマップ)を参照
受付時間は平日の午前9時～午後5時です。
※時間外や土・日・祝日は受け付けておりませんのでご注意ください。

申込方法

- 本館1階外来総合受付にて「文書交付願い」をお渡ししますので、必要事項をご記入ください。
保険会社等の所定の様式を「文書交付願い」に添えてご提出ください。
※患者さんご本人からのお申し込みが原則です。ご本人以外の代理の方がお申し込みされる場合は「委任状」及び代理の方の「身分証明書」が必要となります。

お知らせ

- 診断書等は、利用目的によって記載内容が異なりますので、証明してほしい内容をお知らせください。
- お渡しまで、申し込み後2週間程度の期間をいただいております。

注意事項

- 診断書等を受領後、患者さんの要望などにより記載内容を訂正、再発行することはできません。
- 疾患の内容によっては診断書等が複数枚におよぶ場合があります。
- 診断書等作成にあたり、必要事項を確認するために改めて診察を受けていただくことがあります。

お渡し方法

- 出来上がった診断書等は郵送いたします。お申込みの際に別途、郵送料をお支払いいただきます。
- 診断書等には病名等の様々な個人情報に記載されているため、郵送をご希望の場合はレターパックをお勧めしております。普通郵便での発送を希望され、万が一お手元に届かなかった場合、当院では責任を負いかねますのでご了承ください。
※レターパックは、本館1階売店で販売しております。▶16ページ(本館1階フロアマップ)を参照
- 診断書等の受け取りにご来院いただく場合はお申し出ください。受け取りには、申し込み時にお渡しする「文書交付願い」と、「診察券」または「身分証明書」を必ずご用意ください。代理の方が受け取りに来られる場合は、「文書交付願い」と「委任状」及び代理の方の「身分証明書」をご用意ください。ご用意のない場合は、お渡しできません。

診断書・証明書料金表

文書名	文書料金(税込)
診断書(病院様式)	3,300円
入院・通院証明書(保険会社)	5,500円
難病臨床調査個人票	4,400円
年金診断書(厚生・国民)	5,500円



※ご不明な点があれば、本館1階外来総合受付へお問い合わせください。

各種相談窓口のご案内

当院では、患者さんやご家族からの医学的なご質問・生活上及び入院上のご不安など様々なご相談をお受けする窓口を設置しております。ご相談がございましたら、お気軽にお立ち寄りください。

※ご相談されたことにより患者さんの権利が侵害されることはありません。守秘義務を厳守し、ご相談をお受けします。

場 所	本館1階 入退院支援センター・患者相談窓口・がん相談支援センター ▶16ページ(本館1階フロアマップ)を参照 (ご入院中のご相談は、各病棟の専任の担当者にお声かけください)
受付時間	平 日 9:00～13:00 14:00～17:00 ※土曜日・日曜日・祝日・年末年始は休み

入退院支援センター

入退院支援センターでは看護師やメディカルソーシャルワーカーを配置し、入院に関する説明や退院準備のサポートなどを行っております。病棟看護師・薬剤師・栄養士などの他部門や、他施設とも連携を取りながら、入院が決まった時から退院後まで患者さんやご家族が安心して過ごせるよう支援いたします。

入院生活・退院後の生活についてご不安がございましたらご相談ください。

- 入院時支援 ・入院時の手続きや準備について ・入院中のお薬や食事について ・入院費用について
- 退院支援 ・転院について ・介護について ・在宅医療について ・福祉サービスについて など

患者相談窓口

患者相談窓口では、患者さんやご家族から疾病に関する医学的なご質問や、生活上及び入院上のご不安、医療安全に関することなど様々なご相談をお受けしております。何かご心配な事がございましたら、社会福祉士・看護師・薬剤師・医療安全管理者など適切な担当者と連携を取りながら丁寧に対応します。

このようなご不安ございませんか?お気軽にご相談ください。

- 医療相談 ・病気の内容、症状、病気に伴う苦痛、副作用など ・治療、検査、薬に関する内容
- 医療安全 ・医療安全に関する内容 ・医療に関する疑問や相談、ご意見など
- 各種制度 ・高額療養費制度、社会福祉制度、介護保険、介護サービスなど

がん相談支援センター

がんのこと、1人で抱え込んでいませんか?お悩みお聞きします。

- 病気と日常生活のこと ● 治療、副作用のこと ● 仕事との両立
- 緩和ケアについて ● これから先のこと(アドバンス・ケア・プランニング)
- セカンドオピニオンを受けたい など



当院ではがん専門相談員を配置し、患者さんやご家族のがん医療に関するお悩みやご質問を面談、またはお電話にてお受けしております。

ご相談内容に応じて様々な専門職と連携しお悩み・問題解決に努めておりますので、お気軽にご相談ください。

※他の病院で治療を受けている患者さんもご利用いただけます。

※がんに関する各種パンフレットも本館1階・東館1階に設置しておりますので、ご希望の方はご自由にお取りください。

本館 1階フロアマップ

外来総合受付
 [平日] 9:00~17:00
 診断書や証明書を発行ご希望の方は、こちらにお越しください。



会計窓口
 [平日] 9:00~17:00



自動精算機
 9:00~17:00



ATM 西日本シティ銀行
 [平日] 9:00~19:00
 [土曜] 9:00~17:00
 [日祝日] 利用不可
 ※年末年始の利用時間は異なる場合があります。



入院受付




売店 入院用品、日用品、雑誌、お菓子、お弁当など取り揃えております。
 [平日] 8:00~19:00
 [土・日・祝] 10:00~17:00
 ※13:30~14:30は閉店



入退院支援センター
 [平日] 9:00~17:00



患者相談窓口
 ☎092-291-3434 (代表)
 [平日] 9:00~13:00
 14:00~17:00

がん相談支援センター
 ☎092-291-3452 (直通)
 [平日] 9:00~13:00
 14:00~17:00



入院の準備
 入院中の過ごし方
 支援について
 退院・入院費用について
 相談窓口・施設案内

病院敷地図・立面図

病院敷地図



東館	
8F	東館8階病棟
7F	東館7階病棟
6F	東館6階病棟
5F	東館5階病棟
4F	東館4階病棟
3F	手術室 心臓・血管造影室 病理診断科
2F	泌尿器センター・外科・婦人科 外来化学療法室 検査部門 結石破砕室・透視下手術室
1F	総合案内 CT・MRI・ハイパーサーミア室
B1F	放射線治療・RI室

本館	
8F	リハビリテーション室
7F	歯科
6F	管理部門
5F	本館5階病棟
4F	本館4階病棟
3F	本館3階病棟
2F	健康管理センター 内視鏡センター
1F	外来総合受付・入院受付 内科・整形外科・脳神経科 医療連携室・検査科・放射線科 患者相談窓口・がん相談支援センター
B1F	管理部門

南館	
	病棟
	管理部門
	糖尿病教室
	管理部門
	薬剤科・売店 入退院支援センター

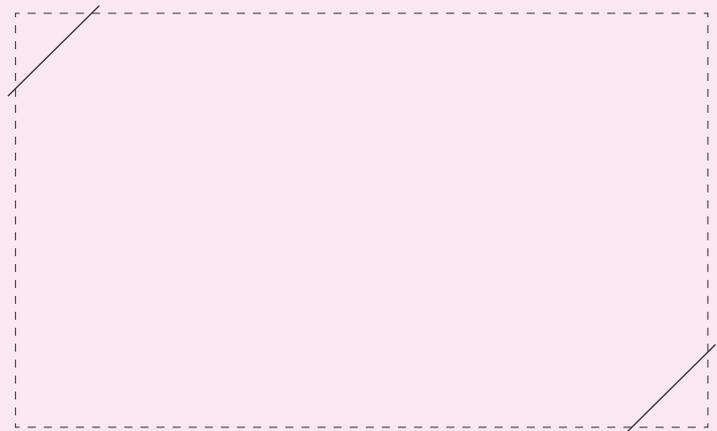
別館	
	管理部門
	管理部門
	管理部門
	腎臓病センター 救急外来

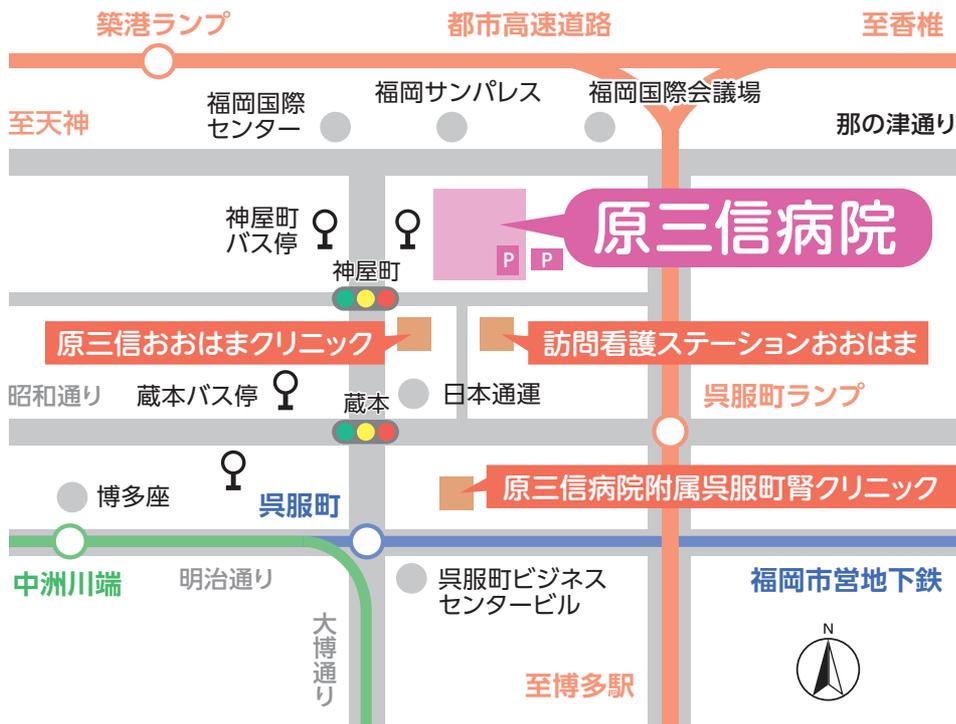
病院立面図

屋上庭園

こちらに関係資料を入れて保管ください。

HARASANSHIN
HOSPITAL





駐車場ののご案内

立体駐車場のご利用時間	第1立体駐車場	第2立体駐車場
平日	8:00~19:00	8:00~19:00
土曜日		12:00~19:00
日祝日		12:00~19:00

※駐車場のご利用時間は変更になる可能性があります。

ご利用目的	ご利用時間・回数	料金
外来診療 健康診断	1回/1日	250円
当日の手術 入退院の送迎	1回/1日	250円
お見舞い 付き添い	1時間	250円 以降30分 ごと100円
一般入院 人間ドック 夜間駐車(泊)	1泊2日	1,000円
睡眠時無呼吸 検査入院(1泊)	17:00~8:00	500円



病院への交通アクセス

西鉄バス

「神屋町」バス停前
「蔵本」バス停より 徒歩約3分

地下鉄

「呉服町」駅より徒歩約5分

タクシー

JR博多駅より 約5分
福岡空港より 約15分

博多埠頭(バイサイドプレイス)より 徒歩約10分

*博多埠頭からは送迎バス(無料)を運行しております。

※当院は救急指定病院です。救急の患者さんは24時間365日診療を行っております。



救急指定 医療法人

原三信病院

〒812-0033 福岡市博多区大博町1番8号
<https://www.harasanshin.or.jp/>



TEL.092-291-3434 (代表)
FAX.092-291-3424 (代表)